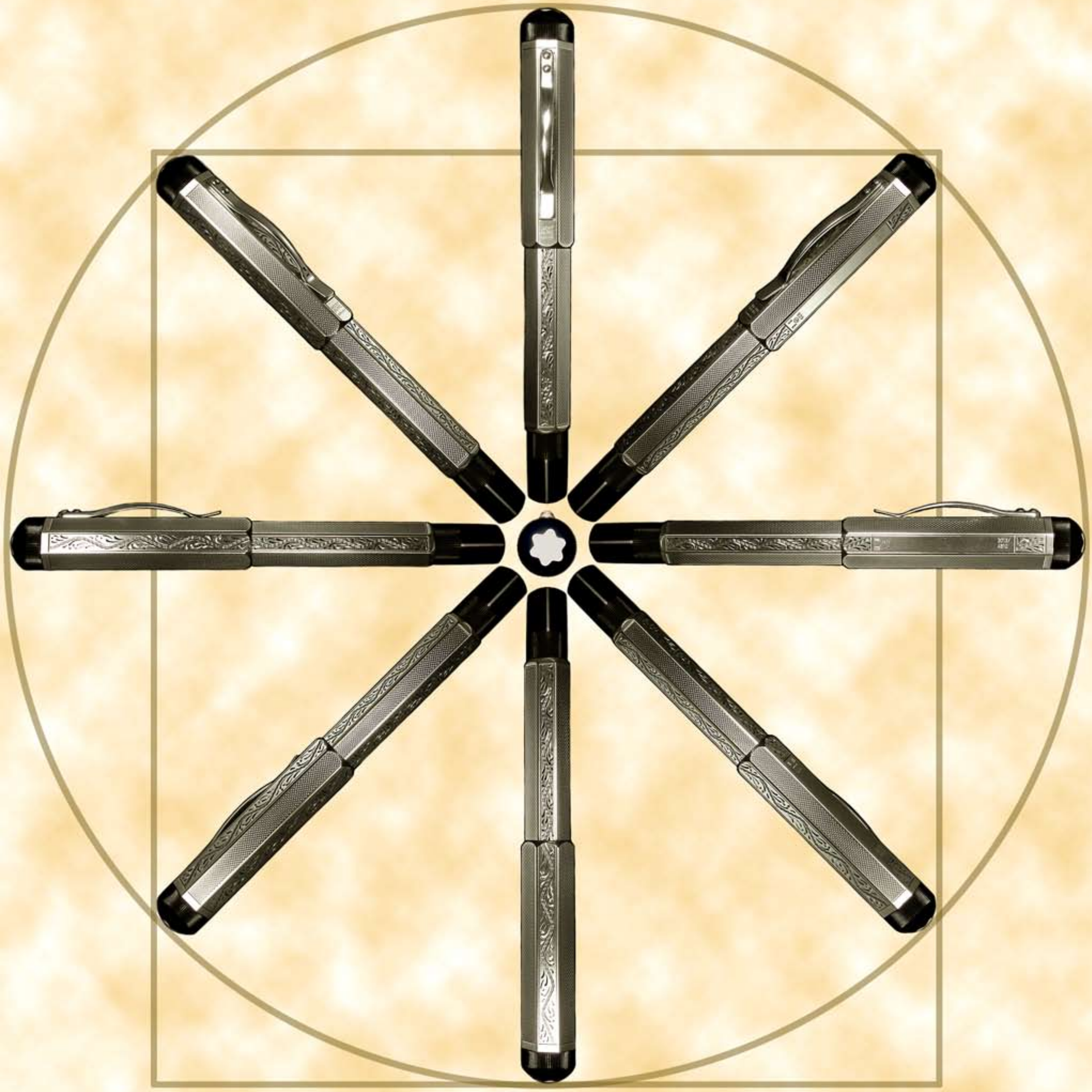
イタリア・ルネッサンスを代表する天才レオナルド・ダ・ヴィンチ(Leonard da Vinci:1452ー1519年)が描いたウィトルウィウス的人体図は 映画ダ・ヴィンチ・コードにも登場したために広く知られることとなった。しかし、その評価だけでなくウィトルウィウスしたは何かをいうことはほとんど知られていないだろう。それは、いまだ真意が不明な「簡潔な文章」に起因するものでダ・ヴィンチ自らが意図したものなのか？　ウィトルウィウス(Marcus Vitruvius Pollio)は紀元前1世紀頃のローマの建築家である。ウウウスキャス(Augustus)時代の初期に活躍したとされるが生没年は未詳である。著作物の「建築十書(De Architectura)」は、西洋古代の建築と土木工学に関する書籍としては唯一完全な形で現存するもので世界最古のものとされる。また、ウィトルウィウスはオクタヴィアン(Octavian=Augustus)とも関連があったことになる。



このの図はチェンバロ・パロンシーノの第1弾ロレンツォ・ダ・メディチ愛チモーブにしたウィトルウィウス的ロレンツォ・ダ・メディチである。子の光ディーの形状が8面体で構成されるロレンツォ・ダ・メディチは ダ・ヴィンチのウィトルウィウス的人体図を重視ち仕るには最適なものだと言える。ウィトルウィウス的人体図は二体の四肢を頂点として描かれているため子の酷似した基本構造が同一なイメージとして認識される。しかし、実際にはウィトルウィウス的ロレンツォ・ダ・メディチは ウィトルウィウス的し構造ではない。それは、記憶されたウィトルウィウス的人体図とは多くの場合曖昧なものだからである。